

## 関西医科大学より先天性巨大色素性母斑を対象とした 新たな臨床研究に用いる母斑組織の高圧処理を受託

2018年2月20日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

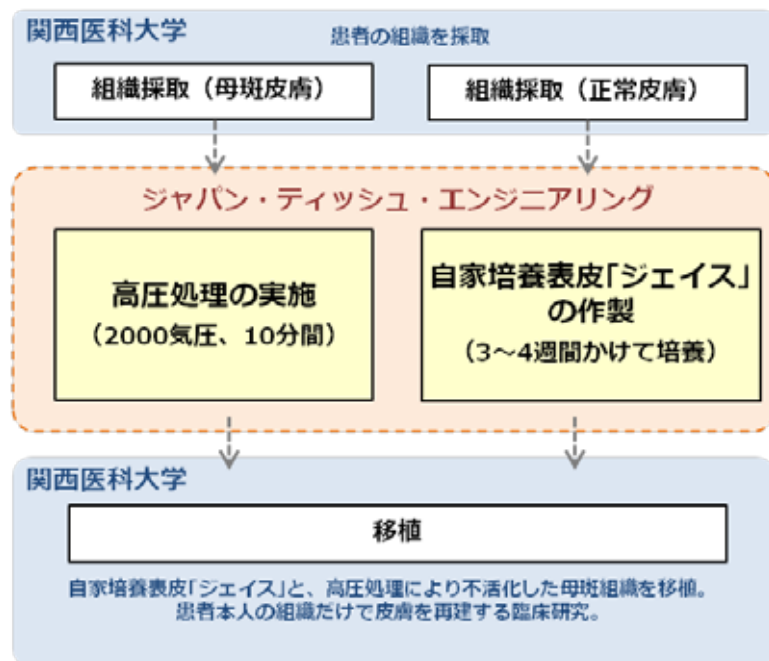
富士フイルムグループの株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(本社:愛知県蒲郡市、代表取締役:畠賢一郎)は、学校法人 関西医科大学より、先天性巨大色素性母斑を対象とした新たな臨床研究に用いる母斑組織の高圧処理<sup>※1</sup>を受託します。

今回実施される臨床研究は、関西医科大学 形成外科講座 森本尚樹准教授らの研究チームが実施するもので、高圧処理により不活化した母斑組織と、自家培養表皮「ジェイス」を患者に移植して治療を行います。不活化した母斑組織を真皮層、「ジェイス」を表皮層に移植することで、母斑細胞が真皮の深い部分まで存在し標準的な治療法では完治できない患者の治療を目的としています<sup>※2</sup>。

当社は、医薬品医療機器等法<sup>※3</sup>に基づく再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準(GCTP)を満たす製造設備を持ち、国内初の再生医療等製品である「ジェイス」と、自家培養軟骨「ジャック」を製造販売しています。今回、自社製品の開発・製造・販売で蓄積したノウハウと確立した製造・品質管理システムを活かして、関西医科大学より、母斑組織の高圧処理を受託します。今後、当社は、本臨床研究に用いる高圧処理した母斑組織のみならず、「ジェイス」も合わせて関西医科大学に提供していきます。

当社は、「ジェイス」「ジャック」のさらなる普及を図るとともに、細胞培養をはじめとする受託を通じて臨床研究や臨床試験、再生医療等製品の製造をサポートし、患者の生活の質(QOL)の向上に寄与することを目指します。

### 【母斑組織の高圧処理受託および自家培養表皮「ジェイス」提供の流れ】



関西医科大学にて採取された患者の組織(母斑皮膚および切手大の正常皮膚)は、当社へ輸送されます。

当社は、母斑皮膚を高圧処理(2000気圧、10分間)で不活化し、また、約3~4週間かけて自家培養表皮「ジェイス」を製造し、関西医科大学へ届けます。

- ※1 本臨床研究の共同研究者である大阪工業大学藤里教授、国立循環器病研究センター研究所山岡部長らは、10,000 気圧の高圧処理により組織から細胞を取り除く技術を開発しました。今回実施する臨床研究では、本技術を活用して母斑組織の高圧処理を実施。コラーゲンなどの主要成分を損傷せず残し、不活化した母斑組織の移植を行います。
- ※2 関西医科大学における先天性巨大色素性母斑に対する新たな臨床研究については、関西医科大学より大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブへ発表されています( <http://www.kmu.ac.jp/>)  
詳細は、下記窓口へお問い合わせください。  
【臨床研究に関するお問合せ窓口】  
学校法人 関西医科大学  
広報戦略室 担当:岡田、畑森、佐脇、大城  
TEL:072-804-2128 FAX:072-804-2344  
形成外科学講座 担当:森本尚樹(もりもと・なおき)准教授  
TEL:072-804-0101 FAX:072-804-2031
- ※3 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(2014年11月施行)

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング  
経営管理本部 経営企画部 TEL 0533-66-2020